

(別紙5)

整理番号 2021P-011
補助事業名 2021年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業補助事業
補助事業者名 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

アジアサイクリングセンターの運営 [国内トレーニングキャンプ]

アジア地区の将来有望な自転車競技選手及びその指導者をCCC修善寺に招致し、自転車のセッティング・ペダリング等の基本指導から、スポーツ医科学のエビデンスに基づいたトレーニング方法に至るまで、長年にわたって蓄積したノウハウを理論的に解説し、参加者の年代やレベルに合致した指導を行うとともに、最高のトレーニング環境のもとで、それらを実践・体感させ、将来的にはオリンピック、世界選手権大会、ワールドカップ等、世界レベルで活躍できるような選手を輩出する。

(2) 実施内容

世界的にCOVID-19の感染者数が増加する中、パンデミックの終息時期の見通しが未だ立たないため、昨年度より引き続き、アジア諸国から選手や指導者を招へいできない状況である。そこで、本センターは、これまで継続して実績を積み上げてきたアスリート育成のノウハウを継続する意味においても、本年度は日本国内在住の若い世代の自転車競技者及びその指導者を中心として、加えて入国可能なアジア地域のNFに対して参加を呼びかけ、トレーニングキャンプを実施した。

開催期間：令和3年12月24日～12月29日

参加人数：1カ国（日本） 選手13名

【使用施設】

日本サイクルスポーツセンター内

伊豆ベロドローム、北400メートルピスト、ウエイトトレーニング場等

<https://www.csc.or.jp> (URL)



(別紙5)



2 予想される事業実施効果

今回コロナの渦中により、海外から参加者を募ることが困難であるからこそ、日本国内在住の若手選手や指導者を中心とした育成に注力できる好機と捉える。また、WCCとの密な連携がスタートした今、共通のトレーニング機材であるワットバイクを利用した計測、トレーニングを実施、そのデータを共有し、それを基に、より良いトレーニングメソッドを確立、パンデミック終息後には、それにより更なるアジア地域全体の自転車競技の促進に資することができるため、その発展性は極めて高いと言える。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

印刷物 トレーニングマニュアル 50冊

<https://www.csc.or.jp> (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター

(イッパンザイダンホウジンニッポンサイクルスポーツセンター)

住所： 〒410-2402

静岡県伊豆市大野1826番地

代表者： 会長 平柳 豊 (カイチョウ ヒラヤナギ ユタカ)

担当部署： 総務部 経理課 (ソウムブ ケイリカ)

担当者名： 経理課長 土屋博良 (ケイリカチョウ ツチャ ヒロヨシ)

電話番号： 0558-79-0006

FAX： 0558-79-0908

E-mail： csczaimu@csc.or.jp

URL： <https://www.csc.or.jp>